

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	長崎短期大学		設置者名	学校法人九州文化学園				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)			
	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	保育学科 保育専攻	80人	幼二種免	昭和47年度	90人	88人	88人	20人
	英語科	80人	中二種免(英語)	平成3年度	84人	4人	4人	0人
入学定員合計		160人	合計		174人	92人	92人	20人
大学名	長崎短期大学(専攻科)		設置者名	学校法人九州文化学園				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)			
	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	保育専攻	10人	幼一種免	平成20年度	3人	2人	2人	1人
入学定員合計		10人	合計		3人	2人	2人	1人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成22年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成22年12月8日（水）

実地視察大学：長崎短期大学

実地視察委員：高倉翔委員、佐藤弘毅委員、八尾坂修委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・2学科及び1専攻科において教員養成を行っている。

<講評>

- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たしており良好に実施されている。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・「高い知性と豊かな教養」「たくましい意思と健康な体」「日本人の誇るべき徳性と品格」を身につけた地域に貢献する人材の育成を目指し、「豊かな感性と温かな人間性」を身につける教養教育、教育現場に適応する「教育実践力」育成を目指す専門教育を重視して教員養成を行っている。
- ・教員に不可欠とされる資質について、「茶道文化教育」を通じて、実践的に身につけさせるようにしている。

<講評>

- ・教員養成に対する理念が明確であり、また理念を具現化するためのカリキュラム及び組織が整備されており評価できる。特に、茶道の精神に基づいた教育については、全学生に対し徹底しており大変評価できる。より一層充実したものとなるように、今後も努めていただきたい。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・シラバスについて、各科目に含めることが必要な事項を含むよう修正し、履修方法等も含め全体的に見直すこと。（具体的内容は以下の通り）
- ・「教育原理」「保育原理」「学級経営論」「臨床心理学」「養護内容」について、含めることが必要な事項を含むよう修正すること。
- ・「英語科教育法」について、中学校学習指導要領をテキスト又は参考書として使用すること。また、模擬授業を取り入れた授業内容とすること。
- ・科目区分「保育内容の指導法」に開設している科目について、幼稚園教育要領に定める5領域の包括的内容を含んで履修できるよう、履修方法等を検討すること。
- ・15回の授業の中で期末試験を行っている授業科目があるため、改善すること。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・幼稚園での実習については、学生が各自で近隣の実習園に依頼し、実習校を確保している。2年次の6月、9月に実施している。
- ・中学校での実習については、学生が各自で母校（または出身地教育委員会）に依頼し、実習校を確保している。2年次の6～7月に実施している。
- ・実習校からの評価、訪問観察の結果、模擬授業の成績を総合して学生に対する評価を行っている。

<講評>

- ・母校実習はできる限り避けてほしい。附属幼稚園の活用や、教育委員会との連携による実習校確保に努めてほしい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・専攻科（幼一種免）においては、全学生が保育施設においてインターンシップ（パートタイム就労）を行っている。
- ・保育学科（幼二種免）においては、付属幼稚園において年7回体験活動を実施している。夏期は全学生が体験活動に参加し、園児との接し方を学んでいる。
- ・英語科（中二種免）においては、可能な限り生徒指導事業に参加するよう指導している。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

- ・専攻科（幼一種免）においては、クラスアドバイザーとして配置された教員が学生からの相談に応じている。
- ・保育学科（幼二種免）においては、3クラスに分け、各クラスにクラスアドバイザーとして教員を配置し、学生からの相談に応じている。課題が生じた際には、クラスアドバイザーを中心に集団指導体制で対応している。
- ・英語科（中二種免）においては、教員が適宜個別指導を行っている。

<講評>

- ・クラスアドバイザーを中心に、今後もきめ細かい履修指導に取り組んでほしい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・教育実習に関しては、教職課程委員会が全学的組織として設置されている。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・情報機器については充実している。
- ・図書については、比較的古いものが多いため、新しい図書を整備する必要があると考えられる。特に、教職に関するデータ集や文部科学白書、法令等については、適宜新しいものを補充してほしい。
- ・図書館の開館時間が短いため、学生の要望を聞く等し、要望の内容次第では開館時間の延長を検討する必要がある。

■ その他

<講評>

- ・FD・SDについて、積極的に取り組んでおり評価できる。（学生による授業評価アンケートの実施、教員相互の講義参観の実施、職員が茶道教師として学生を指導する等）
- ・学生による授業評価アンケートについては、それに基づいた講義改善を行うだけでなく、フィードバックのビジョンを学生に対して示すことが望ましい。